

第3章 ターゲットと基本目標

1. ターゲット

本市の現状の課題を踏まえ、第2期総合戦略のターゲットを、市内外の20歳から39歳までの若い世代とします。特に、女性の多様な働き方や暮らし方を支援することで、出生率の向上やさらなる人口の流入が期待できます。若い世代が健康で安心して暮らすこと、また不安や負担を感じることなく、安心して子育てができるまちを目指し、結婚・出産・子育てへの支援や移住・定住の促進に係る取組など、多様性や人権尊重の視点を踏まえ、若い世代の希望をかなえる施策を引き続き行っていきます。

また、新型コロナウイルス感染症に起因する雇用への影響も懸念される中、雇用を守るための対策を講じるなど、総合的に施策を展開していきます。

2. 基本目標

第1期総合戦略では、国や大阪府の総合戦略及び「松原市人口ビジョン」を踏まえ、基本目標を定めました。地方創生は地域に活力を取り戻していくための息の長い政策であるため、第1期で根付いた地方創生の意識や取組を第2期においても、国と同様に「継続を力にする」という姿勢を保ちつつ、基本目標1については、第1期総合戦略を継承したものとし、基本目標2については、第5次総合計画との連動を図るため、第1期総合戦略の基本目標2及び3を集約したものとし、基本目標3については、第2期総合戦略のターゲットを若い世代としたことを踏まえ、第1期総合戦略の基本目標4に、にぎわいの創出や魅力の発信等の内容を加えたものとします。

【基本目標1】

生涯を通じて「安心」して暮らせる「まち」をつくる

【基本目標2】

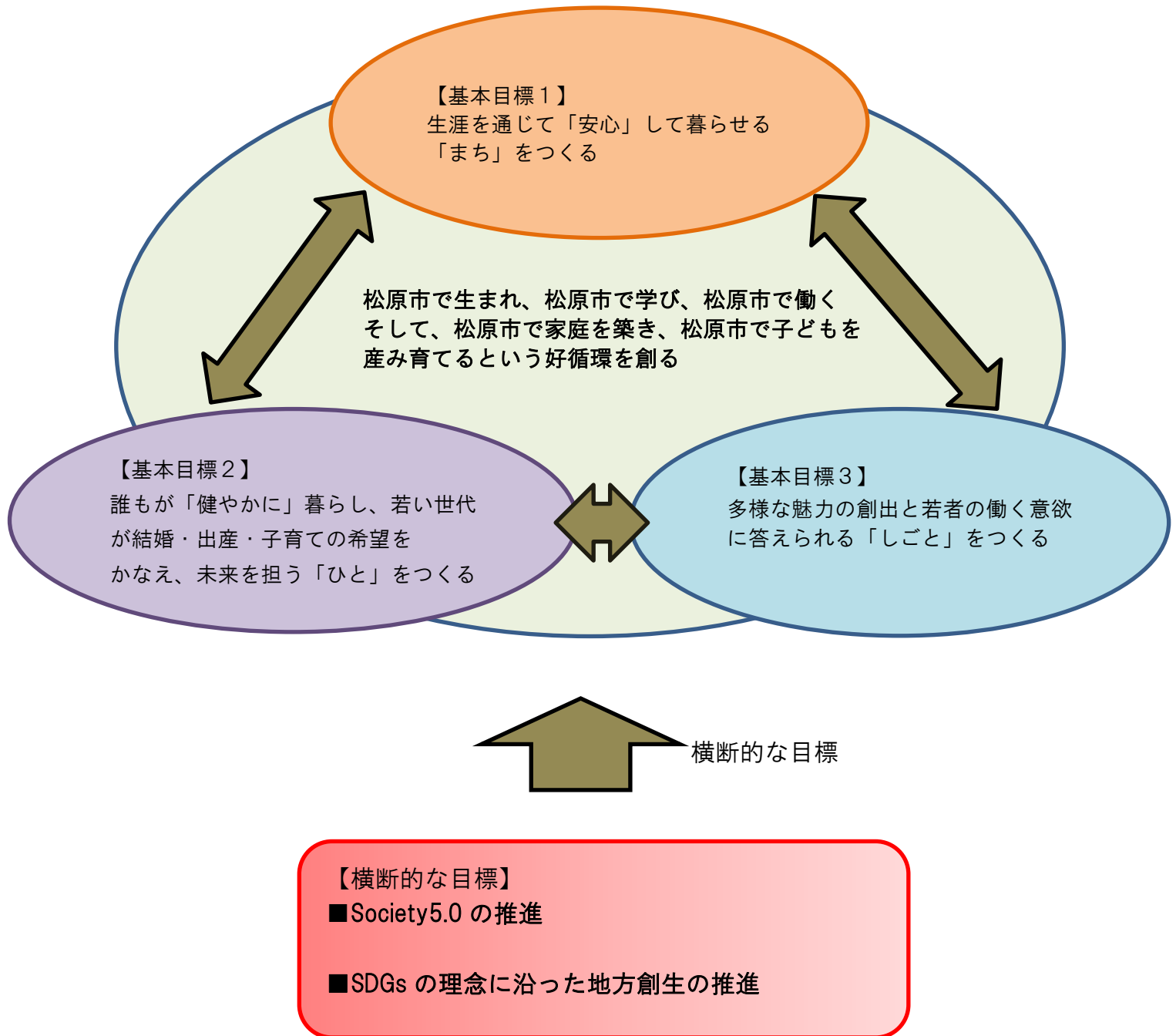
誰もが「健やかに」暮らし、若い世代が結婚・出産・子育ての希望をかなえ、未来を担う「ひと」をつくる

【基本目標3】

多様な「魅力」の創出と若者の働く意欲に答えられる「しごと」をつくる

3. 横断的な目標

国の第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略では、新たに加えられた横断的な目標の一つに「新しい時代の流れを力にする」とあり、その中で「地域における Society5.0 の推進」や「地方創生 SDGs の実現などの持続可能なまちづくり」が掲げられていることから、本市においても「Society5.0 の推進」及び「SDGs の理念に沿った地方創生の推進」の2つの新たな視点を加えて施策を推進していきます。



(1) Society5.0の推進

「Society5.0」とは、ICTを最大限に活用することによって、サイバー空間（仮想世界）とフィジカル空間（現実世界）を高度に融合させたシステムにより、人々に豊かさをもたらす「超スマート社会」のことを言います。

本市は、「超スマート社会」の実現のため、最新のテクノロジーを地域の特性に応じて有効に活用することにより、地域の課題解決や生産性・利便性の飛躍的向上・産業や生活の質の変化と地域の魅力向上につなげます。本市としましては、総務省が定めるオンライン利用促進対象手続の対象項目のオンライン化を進めます。

(2) SDGsの理念に沿った地方創生の推進

SDGsとは Sustainable Development Goals の略称で、2015年9月の国連サミットにて採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2016年から2030年までの、持続可能な世界を実現するための国際目標で、17の目標から構成されています。

第2期総合戦略では、SDGsの理念を取り入れ、17の目標のアイコンを活用し、基本目標等がSDGsのどの目標に関連しているのかをマッピングし、視覚的にわかりやすく示します。

そして、第2期総合戦略に基づく事業の着実な推進により、SDGsの達成を目指します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

